

# せいかつしどう 生活指導だより

令和7年9月1日  
江戸川区立篠崎第四小学校  
生活指導だより  
校長  
生活指導担当

## 本校におけるいじめの重大案件発生について

今日から2学期が始まりました。音楽会をはじめ、様々な行事のある長い2学期を、充実したものにできるように、教職員一同協力して指導していきます。

また、昨年度本校で、ある児童間のトラブルがございました。これを調査し、教育委員会に相談したところ、いじめ重大案件と認定しました。長期化の原因は学校の対応の遅れにあり、校長の責任と大変申し訳なく思っております。発生が学校外での出来事であったことや金銭のやりとりがあったことで学校での対応外として判断し、初動が遅れてしまいました。約半年後に調査できたところ、一度に数万単位での金銭の要求が複数回続いていたことが分かりました。結果、児童とそのご家族を長く苦しめてしまったことは、本当に申し訳ないことでした。保護者の皆様や子供たちにも大変なご心配をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。

現在も被害に遭われた児童とその保護者の方のご心痛は大きく、今後は双方の子供たちのケアに努めるとともに、教育委員会・保護者と共に今後の学校の生活指導の在り方について協議を重ね、二度とこのようなことが起こらないよう、教職員一同、再発防止に努めているところです。

学校では、年三回のアンケートや日々の児童観察や個人面談、人権に関する授業の実践等ではじめ防止を図っておりますが、それでも子供たちは様々な体験をする中で、様々なトラブルにも見舞われます。もちろんいろいろな人間関係から学ぶこともありますが、交通事故や災害と同じように、いじめは命にかかわります。そのため、子供たちには次の3つの力を身に付けてほしいと願い、日々指導しています。何卒、ご家庭でもご理解とご協力をお願いいたします。

### ①きまりを守って責任ある行動をする力

篠四小では、子供だけでゲームセンターや大型ショッピングセンター、カラオケ店等に行くことを禁止しています。また、子供だけで区外に行くことや映画館、飲食店等にも出入りすることも、安全の観点から許可していません。それはなぜでしょうか？

まず、第1に「小学生だけで行動すること」の危険性があります。「人がたくさんいれば安全」ではなく、いろいろな人がいるからこそ、子供をねらった犯罪も多くなります。ふとした瞬間に暗がりへ連れ込まれたり脅されて金銭を要求されたりする危険性、交通事故や熱中症などのケガ・病気の危険性に配慮し守ってくれる大人がいないことが問題です。また、子供たち自身が周囲に迷惑をかける可能性もあります。本校でも、複数の友達同士でこれらの商業施設へ行くという子供を時々見かけますが、絶対に子供だけで行かせず、保護者同士で連絡を取り合い、責任をもって引率をしてくださいますようお願いいたします。

第2に、「金銭トラブルによるいじめ」の危険性があります。これらの施設は、基本的にお金がないと遊ぶことができません。金銭事情や金銭に関するルールは、各家庭によっても様々です。子供は大人以上に金銭感覚がマヒしやすく、たやすく課金や貸し借りに走ってしまいます。今は電子マネーやクレジットカード化が多く、大人も子供がいくら何に使ったかを把握しづらく



なっています。本校でもいつのまにか子供が大金を遊興施設でのガチャやゲームにつぎこみ、そこでの友人同士の金銭要求がエスカレートし、いじめの重大案件に発展するという事例が発生しました。正しい金銭感覚を身に付けるとともに、お金のルールを各家庭で徹底することが重要です。なぜ篠四小にはきまりがあるのか？その意味をしっかりと考えて行動する力を身に付けさせていきます。

### ②相手の気持ちや周囲の迷惑を考える力

日常生活の中でトラブルの元になっていることの一つに言葉のやりとりがあります。相手にとって、その言葉が大変つらく悲しいことにならないか、発言する前に考えてほしいです。特に今は、小学生でも多くの児童がスマホを所持しています。安易に連絡が取れる便利なものですが、子供たちは果たして上手に利用できているのでしょうか？子供の文章力には学校から見てもそれぞれに大きな差があります。うまく文章で伝えられずに、思いのすれ違いからいじめやトラブルに発展することも珍しくありません。親子でしっかり SNS やメッセージアプリの使い方を確認し、時々ふりかえりを行うようにしましょう。

○そのメッセージは一方向的になっていませんか？

○相手の立場を気遣った文章ができていますか？

○送る時間帯は配慮できていますか？

○大事なことはきちんと会って対面で確認できていますか？

また、SNSやオンラインゲームでは「攻撃的な言葉遣い」が常態化してしまいがちです。言葉遣いは日常生活でもトラブルのもととなっています。言葉は一度発せられるととに戻すことができません。だからこそ、相手がどう思うか、気遣いや思いやりが欠かせません。

### ③困ったときは速やかにSOSを出す力

東京都教育委員会では、昨今増え続ける児童・生徒の自殺予防対策を更に強化することを目的として、学校における自殺予防教育を推進させるため、「SOSの出し方に関する教育」を実施してきました。「SOSの出し方に関する教育」とは、「子供が、現在起きている危機的状況、又は今後起こり得る危機的状況に対応するために、適切な援助希求行動（身近にいる信頼できる大人にSOSを出す）ができるようにすること」、「身近にいる大人がそれを受け止め、支援ができるようにすること」を目的とした教育です。（都教育委員会 HP より）特に、夏休み明けは一年間で最も自殺や不登校が起こりやすい時期です。子供たちのささいな変化を見逃さないよう、学校とご家庭で連携して子供たちを見守っていきたくと思います。

児童・生徒向け  
リーフレット  
「学校みんなが安心して  
過ごせるようにするために」



#### ○各ご家庭にお願いしたいこと○

SNSやデジタル化が発達した便利な世の中ですが、それゆえに万が一トラブルに巻き込まれた時の影響も昔より大きなものになっています。SNSでのいじめ、デジタルタトゥーや電子マネー・クレジットカードなどによる課金や不正利用は特に見えにくく、発見した時には被害が一生に及ぶものもあります。お子様のスマホやSNS利用についてはきちんと管理し、金銭についても十分ご指導をお願いいたします。

- ・過度なスマホ利用は避ける。夜遅くまで使わない、相手に返事を強要しない。
- ・たとえ1円でも友達同士でお金の貸し借り、おごりはしない。お金の大切さを理解させる。
- ・安易にお金のかかる遊びは提案しない。「▲▲するから○円持ってきて」と相手に要求しない。